

温度や湿度などの環境による製品の性能をチェックする 環境試験センターがオープン

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターでは、ご利用企業から要望の多かった環境試験機器を導入・更新し、「環境試験センター」として整備し、9月3日にオープンします。

これにより、電気製品をはじめとする工業製品の安全性、信頼性に関する試験が、今まで以上にご利用しやすくなりました。

「環境試験センター」では、お客様ご自身が機器を操作し、実験できます。(有料)

環境試験とは？

電気製品などの工業製品は、様々な環境において、正常に機能する事が求められます。温度、湿度、振動などの環境を、模擬的に作り出し、製品の信頼性や性能を確認する試験です。

主な環境機器

冷熱衝撃試験機、恒温恒湿槽、結露サイクル試験機、振動試験装置、落下衝撃試験機、雷サージ試験機、ファーストトランジェントノイズシミュレータ、静電気障害試験器



恒温恒湿槽を用いて計測を行っている様子

利用例

1. 冷熱衝撃試験機



急激な温度変化による電子部品の耐久性などを試験できます

温度
(- 60 ~ +200)

2. 振動試験装置



車載用電子機器などの振動に対する耐久性の試験に使用できます

振動数
(5 ~ 500Hz)

3. 恒温恒湿槽(腕挿入式)



温度湿度の変化による変色やハクリ試験などに使用できます

温度湿度
(- 40 ~ +90)
(20 ~ 95%rh)

4. 落下衝撃試験機



使用時や輸送時の落下による誤動作の確認試験などに使用できます

加速度
(30、50、100G)

<http://www.iri-tokyo.jp/>

【お問い合わせ先】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

総務部情報システム課 吉野 学 TEL 03-3909-2431 FAX 03-3909-2592

事業化支援部製品化支援室 朝倉 守 TEL 03-3909-2315 FAX 03-3909-2590